



日本防犯システム協会

第14期総会を開催 機器普及に向け展示会に出展

日本防犯防止システム協会は6月2日、東京・千代田区の主婦会館プラザエフで第14期通常総会を開き、オブザーバーを含め90人が出席した。

戸田秀雄会長（高千穂交易）は「万引防止システムの普及促進」

万引防止システムの普及に努めると戸田会長

進、ソースタギングの実現、防犯画像の効果的な活用などを中心に進めていく」と強調。議事では戸田会長を議長に諸議案を了承した。

新年度の事業では、来年2月に開催される「スパーマーケットトレーニング2016」や3月に開催される「セキュリティショー2016」に出展するなど、万引防止システムの普及促進に取り組む。さらにソ

ースタギングを関係業界に働きかけ実証実験を推進する。

また、ペースメーカーなど医療機器使用者に、防犯ゲートなどのEAS（電子式商品監視システム）機器を告知するPOPの普及にも力を入れる。

役員改選では、松本剛理事（チェックポイントシステムジャパン）、小原史郎理事（ACTUN I）、喜多慎一監事（ユニパルス）が退任し、金村真一氏（チェックポイントシステムジャパン）、佐藤圭三氏（キャトルプラン）が理事に、山根久和氏（セフトHD）が監事に就任した。

総会後に万引き事件で息子を亡くした警視庁元幹部の桶田清順氏が、記念講演を行った。